

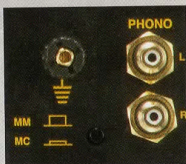
EAR 868

¥1,02,900(868PL/フォノモデル) ¥732,900(868L/通常モデル)

* MCのインピーダンス
の変更はメーカー対
応となる

MM MC ケイン切替 負荷切替 プリアンプ プリアンプ

●使用真空管:PCC88(7DJ8)×4 ●入力感度/インピーダンス:200mV/47kΩ(LINE)、2.2mV/47kΩ(MM)、0.24mV/40Ω(MC、4Ω/12Ωの選択可) ●最大出力:5V(600Ω、RCA/XLR) ●入力端子:RCA×4(LINE)、XLR×1、PHONO(MM/MC)×1、MONITOR×1 ●出力端子:RCA×2、XLR×2、TAPE OUT×1 ●サイズ:380W×100H×305Dmm ●質量:10kg ●取り扱い:ヨシノレーディング(株)

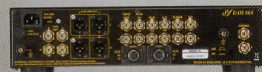


MM/MCはスイッチにて切り換えることが可能で、内蔵の昇圧トランスによるMC対応が魅力だ

使いこなしのポイント

本文にも記したように、本機は内蔵の昇圧トランスでMCカートリッジに対応している(ほかのページでも記したように、真空管アンプのMC対応は昇圧トランスが理にかなっている)。したがってMC使用時の音質はMMポジションとはおのずと異なってくる。基本的には同一傾向ではあるのだが、MCポジションの方が華やかな感じがするのだが、昇圧トランスにもさまざまなキャラクターがあるのだが、このアンプのそれは帯域制限感がなく、好ましい。

真空管の鬼才による独特の構成 内蔵トランスのMC対応が魅力の一台



プリアンプとしてRCA、XLRの入出力端子をそれぞれ備えている

●本機の音質を聴く
音楽の追従性が抜群であり
音像はしなやかで瑞々しい

EARは鬼才、ティム・パラヴィチーニ氏が主宰するイギリスの真空管アンプメーカーだ。本機はプロ用モデルの912を簡略化し、使いやすくしたモデルとなる。使用真空管はPCC88×4。プリアンプ回路は真空管とトランスを組み合わせたパラヴィチーニ氏独特の構成で作られている。フォノイコライザーも真空管式だが、MCカートリッジには内蔵の昇圧トランスで対応している。

重心の低い音である。それでいて音像は空中に軽々と浮遊する。音像の質感はしなやかで瑞々しく、もぎたての果物のようにフレッシュだ。ことさらに音場を意識させるタイプではない。しかしよく聴くと非常に広く、周波数レンジも広いのだが、それでいて音像は薄まらず、濃い味わいが保たれる。メロディとハーモニーの変化への追従性は抜群で、ワンプレーズのなかにもさまざまな表情を見せる。ジャズは伸びやか。ヴォーカルは耳に美味しい。クラシックは美音を味わいつつも、数十年も親しんできた演奏・録音から新しい発見をいくつもした。事情が許せば自室でもハンドリングしてみた。